

学校でのいじめ防止

家庭との連携は

委員 平成15年度の小学校でのいじめは、0件とされているが、これは、こういった状況をとらえてのものか。
また、いじめをなくすためには、家庭での親と子供の会話が重要となる。

そこで、家庭との連携をどう

のように考えているか。

指導室副主幹 電話相談等でのいじめの相談はあったが、これは単発的なもので継続しているいじめはなかったとらえている。

指導室長 家庭での会話は重要なことであり、学校だよりや学校からの資料等を使いながら、会話をしてもらうよう保護者会等を通じお願いをしている。

NPO・ボランティアまつり
事業の内容と評価は

委員 平成15年度の特別枠事業で、NPO・ボランティア活動支援費が予算化されている。15年11月にNPO・ボ

ランティアまつりが行われたが、事業の内容とその評価について聞きたい。



▲昨年のNPO・ボランティアまつりから

校舎の耐震調査

今後の計画は

委員 市では、平成15年度から、校舎の耐震調査を開始したと聞く。

そこで、この耐震調査に基づいて、今後、どのような計画を立てていくのか。
また、耐震調査後の補強方法をどのようになっているか。

新生児訪問指導
市民の声は

委員 平成15年度の新生児は、2144人と聞く。

そこで、保健師の体制や訪問先での具体的な指導内容を聞きたい。また、市民の声や新たな展開があれば聞きたい。

健康推進課長 新生児訪問指導での実人数は、635人で、職員体制は、保健師8人で、地区割りにより各々訪問している。

指導内容は、保護者の話を聞き、養育不安を解消することである。市民からは、「大変喜んでいて」、「感謝している」等の声がある。

新たな取組は、更にきめ細かな保健サービスに努め、多くの要望に応えていきたい。

民生費の不用額
その内容は

委員 平成15年度、民生費の不用額が、7億2600万円余りとなっているが、その主な内容を聞きたい。

また、そのうち契約差金ほどの程度あるか。
財政課長補佐 民生費は、力を入れた施策ではあったが、実績では利用等の目標が下回ったことが、主な不用の要因である。

その内容は、知的障害者入所費が約1400万円、私立保育所入所運営費が約2700万円、高齢者住宅サービスセンター運営委託料が約1億7400万円等となっている。また、契約差金は3億2056万円である。

重点施策

委員 平成15年度は、基金の有効活用で基金を約48億円取り崩し、又、約17億円を積み立て、一方で市債を発行している。

そこで、その財源を市としてどこに重点配分したか聞きたい。
財務部長 15年度は、子育て支援など民生費において積極的予算を編成した。

その主な内容としては、心身障害者(児)ホームヘルプサービス事業が1億4635万8千円、子育て支援中核施設購入費が3億5700万円、児童扶養手当費が4億368万2千円、学童クラブ整備・増築事業費が5466万3千円などとなっている。

決算の評価

委員 当初、積極増額予算として組まれた平成15年度予算が、決算を迎えた。

そこで、現状をどのように分析し、また評価しているか聞きたい。
財務部長 15年度決算では、歳出では、32事業を見直すとともに、この財源で46の新規事業、23のレバレッジ事業を実施でき、子育て支援を始めとして、福祉、環境、教育など、市民要望に沿った事業が実施できたと考える。

今後、経常収支比率90%以下を目標に、財政の健全化に向けた取組をしていきたい。

※経常収支比率：一般財源のうち、人件費などの経常経費が占める割合

基金の状況

委員 基金は、特定の目的のために資金を積み立て、一時的な経費増に備え、財政負担の平年化や将来予測される必要経費の財源を安定的に確保するためにあると思う。臨時的又は一時的な行政需要も弾力的に吸収して、他の施策に影響を生じないよう基金を活用すること、財政調整の機能と考える。

そこで、平成15年度の剰余金の積立て状況と、15年度末の基金総額を聞きたい。

財務部長 15年度の剰余金の積立て状況は、財政調整基金に1億円、公共施設整備基金に3億円をそれぞれ積み立てている。

また、15年度末の基金総額は、417億5051万6千円である。

ごみ減量対策

委員 平成15年度に環境基本計画に基づき、廃棄物減量等推進審議会から、今後10年間で、ごみ50%減量とリサイクル率50%達成に向けての答申が出された。

そこで、この目標達成に向けて具体的な体制づくりをどのように推進していくのか聞きたい。

環境安全部長 16年度は、意識啓発のため、市民、事業者、行政が一体となり、市民マイバッグ持参運動を開始し、また、推進体制づくりとしては、地域において、ごみ減量に取り組まれている地域ごみ対策推進員の連絡組織が設置されている。

市の財政状況

委員 平成15年度の財政力指数、経常収支比率、公債費比率をそれぞれ聞きたい。

また、その数字を見ながら、市は、15年度の財政をどのように判断しているか聞きたい。

財務部長 財政力指数は、1・175、経常収支比率は、従前の方式での計算で91・7%、公債費比率は9・1%である。

5年連続で、経常収支比率は、90%を超えた状態となっている。バランスのとれた財政運営を行うためには、70〜80%が望ましいといわれている中では、厳しいものとなっている。

平成15年度各会計別歳入歳出決算の状況

区分		最終予算額	収入済額	収入率(%)	支出済額	執行率(%)
一般会計		744億1896万6千円	741億3589万9千円	99.6	727億1248万7千円	97.7
特別会計	国民健康保険	161億1581万円	160億4650万5千円	99.6	160億4203万3千円	99.5
	老人保健医療	141億8479万4千円	136億8321万円	96.5	138億5896万8千円	97.7
	介護保険	82億4098万2千円	77億9702万5千円	94.6	77億6189万1千円	94.2
	競走事業	933億4680万1千円	913億5754万4千円	97.9	912億5633万8千円	97.8
	公共用地	28億7532万2千円	28億6696万円	99.7	26億4059万円	91.8
	下水道事業	47億7727万9千円	47億3136万2千円	99.0	46億9330万6千円	98.2
	受託水道事業	22億6038万円	20億2539万8千円	89.6	20億2539万8千円	89.6
火災共済事業		999万3千円	426万7千円	42.7	237万2千円	23.7

平成15年度一般会計決算款(科目)別内容

